

ヨシキリザメ 大西洋

Blue Shark, *Prionace glauca*



管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

生物学的特性

- 最大体長・体重：雄 279 cm、雌 273 cm（体長は尾叉長）、体重は不明
- 寿命：20 歳以上
- 成熟開始年齢：4~7 歳
- 繁殖期・繁殖場：初夏、北緯 30~40 度と南緯 30~40 度の海域
- 索餌期・索餌場：熱帯・温帯域
- 食性：魚類、頭足類
- 捕食者：幼魚は大型サメ類や海産哺乳類

利用・用途

肉はすり身等、鰭はふかひれ、皮は工芸品や医薬・食品原料、脊椎骨は医薬・食品原料

漁業の特徴

本種は南北大西洋の熱帯から温帯にかけて出現し、外洋性サメ類の中で最も資源豊度が高いと考えられている。本種はまぐろはえ縄漁業で数多く漁獲されているが、基本的に混獲種であり、本種は外地で水揚げされるか放流されている。

漁獲の動向

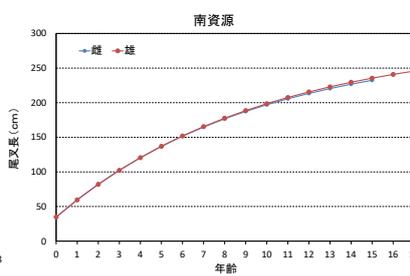
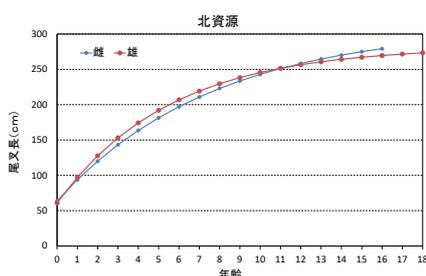
本種のはえ縄漁業等による我が国の水揚量は、1994~2019 年において北大西洋資源は 270~4,500 トン、南大西洋資源（南資源）は 180~3,500 トンの範囲で推移しており、近年（2015~2019 年）の水揚量は南北資源ともに顕著に増加している。

資源状態

南北大西洋系群は 2015 年の ICCAT さめ資源評価会合において資源評価が行われ、南北資源の入力データ及びモデル構造の仮定に関して不確実性が高いことを指摘した上で、北資源に対しては乱獲状態になく漁獲も過剰漁獲の状態ではないと評価し、南資源に対しては、資源状態は不明とした。

管理方策

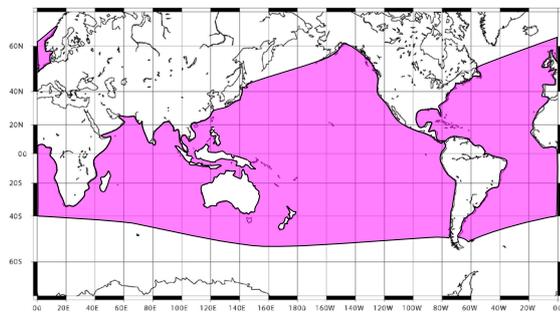
全てのマグロ類地域漁業管理機関において、漁獲されたサメ類の完全利用（頭部、内臓及び皮を除く全ての部位を最初の水揚げまたは転載まで船上で保持すること）及び漁獲データの提出が義務付けられている。ICCAT では、北資源については、総漁獲可能量 (TAC) を 39,102 トン（2011~2015 年の平均総漁獲量）とし、主要漁獲国を対象に国別割当を設定（我が国漁獲枠は 4,010 トン）する旨の保存管理措置が採択され、2020 年から実施されることになった。南資源についても、南大西洋全体の TAC を 28,923 トンとする保存管理措置が合意され、2020 年から実施されることとなった（国別割当なし）。



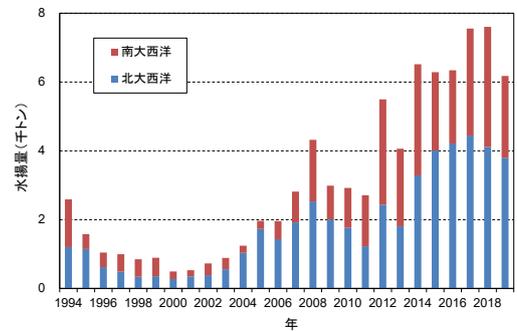
ヨシキリザメ（南北大西洋系群）の成長曲線

ヨシキリザメ（大西洋）の資源の現況（要約表）

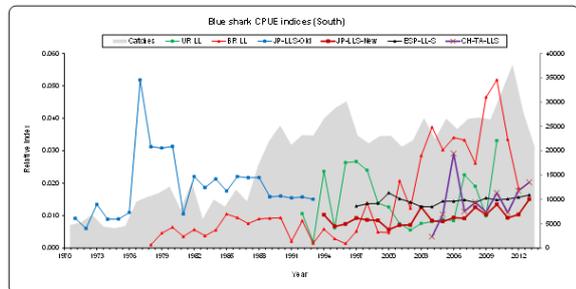
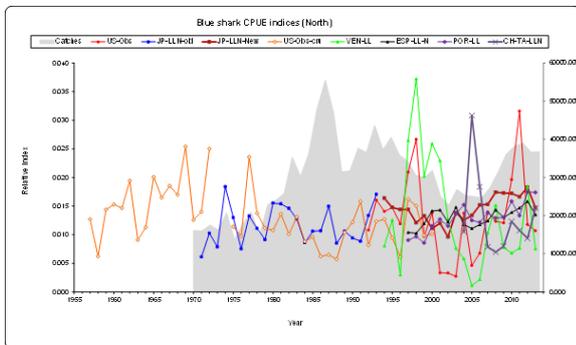
| 海域 | 北大西洋（赤道以北） | 南大西洋（赤道以南） |
|----------------|--|--|
| 資源水準 | 高位 | 調査中 |
| 資源動向 | 横ばい | 増加 |
| 世界の漁獲量（最近5年間） | 2.7万～4.4万トン 最近（2019）年：2.7万トン 平均：3.7万トン（2015～2019年） | 2.2万～3.5万トン 最近（2019）年：3.5万トン 平均：2.9万トン（2015～2019年） |
| 我が国の漁獲量（最近5年間） | 3,801～4,444トン 最近（2019）年：3,801トン 平均：4,117トン（2015～2019年） | 2,127～3,495トン 最近（2019）年：2,377トン 平均：2,678トン（2015～2019年） |
| 管理目標 | 検討中 | 検討中 |
| 資源評価の方法 | SS、BSP | BSP、SSBSP |
| 資源の状態 | $B_{2013} / B_{MSY} : 1.35 \sim 3.45$ | $B_{2013} / B_{MSY} : 0.78 \sim 2.03$ |
| 管理措置 | 漁獲物の完全利用等 | 漁獲物の完全利用等 |
| 最新の資源評価年 | 2015年 | 2015年 |
| 次回の資源評価年 | 2021年 | 2021年 |



ヨシキリザメの分布

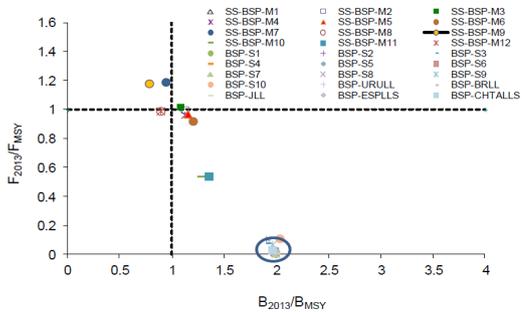
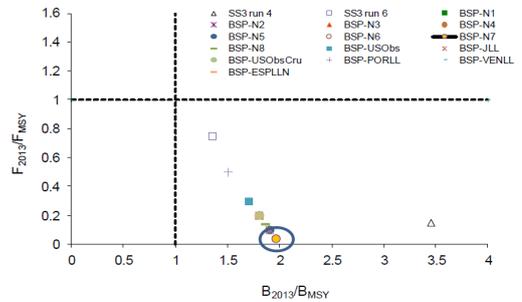


日本のヨシキリザメ（南北大西洋系群）の水揚量（1994～2019年）



大西洋におけるヨシキリザメの標準化 CPUE

上：北大西洋、1957～2013年、下：南大西洋、1971～2013年。灰色は漁獲量、実線は各国のCPUE（北資源：米国のオブザーバー航海（朱）、日本のはえ縄前期（青）、日本のはえ縄後期（赤）、米国のオブザーバー航海（橙）、ベネズエラのはえ縄（黄緑）、スペインのはえ縄（黒）、ポルトガルのはえ縄（紫）、台湾のはえ縄（紫と×印）、南資源：ウルグアイのはえ縄（緑）、ブラジルのはえ縄（朱）、日本のはえ縄前期（青）、日本のはえ縄後期（赤）、スペインのはえ縄（黒）、台湾のはえ縄（紫））を示す。



北資源に対して統合モデル（SS）及びベイジアンサープラスプロダクションモデル（BSP）で示された神戸プロット（上図）、南資源に対してBSPと状態空間ベイジアンサープラスプロダクションモデル（SS-BSP）で示された神戸プロット（下図）青いサークルはBSPで示された一般的な状態（2013年時点の資源状態は、乱獲状態ではなく過剰漁獲行為も行われていない状態）を表す。右上の凡例は、各モデル及び複数異なる設定で行われた感度解析を表す。例えば、SS3は統合モデルを表す。